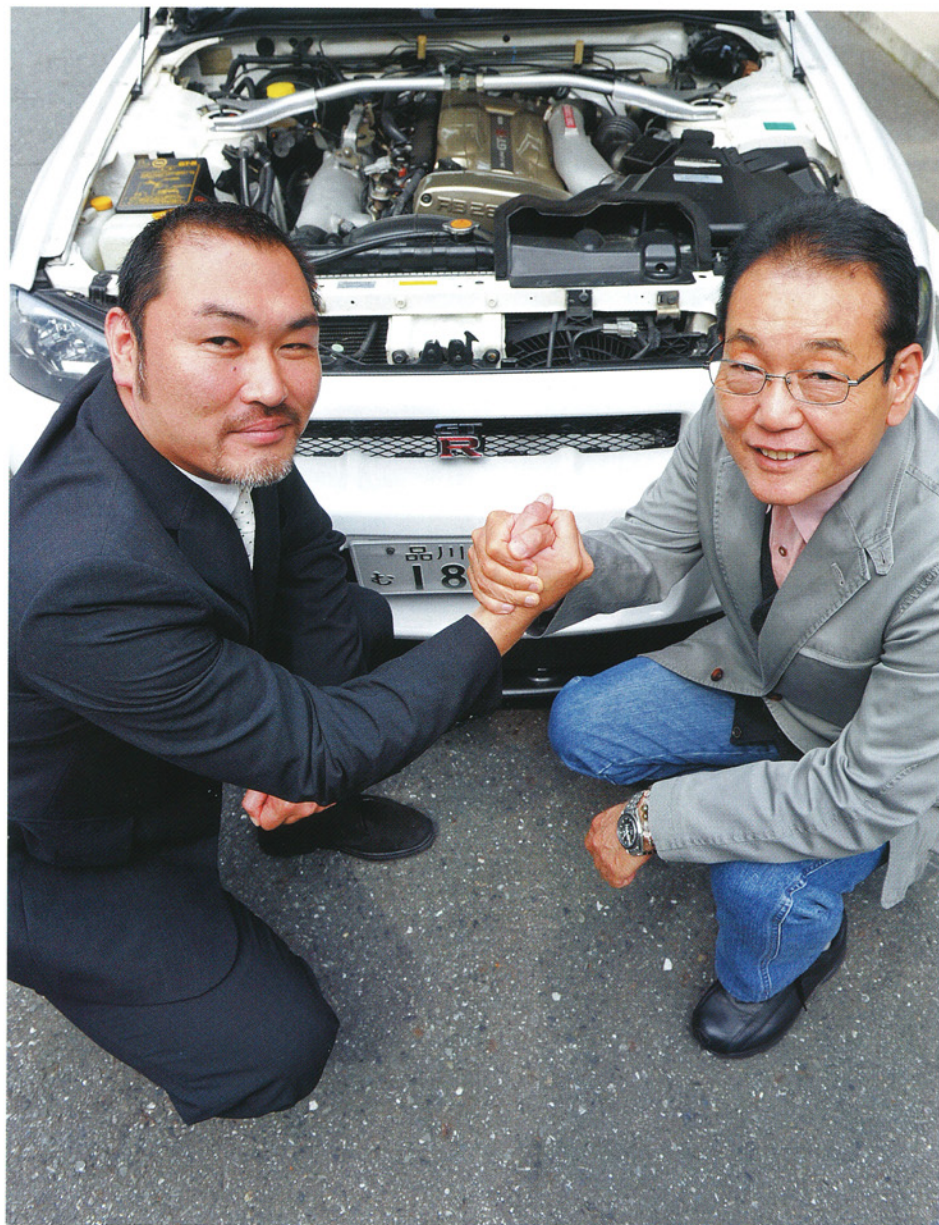


NUTEC  
&  
GT-R Magazine

# 共同 計画

©ニューテック ☎045・628・2055 <http://nutec.jp>  
文:山本浩伸(本誌) 写真:高木博史



限定受注生産の6ℓ仕様  
おまけに専用木箱梱包!?

裏事情を知ってしまったら、その真実に驚くと同時に、一気に情熱が冷めることもある。一方で、ますます好きになることもあるが、わたしの、オイルへの思いは前者だった。

振り返れば学生時代、ガソリンスタンドでアルバイトをしていたときに、仕入れ値と売値の格差に驚いたしかも、最上級グレードと廉価版の性能に、大きな違いがないことも知った。だから当時、わたしが乗っていた日産910型ブルーバードのエンジンに注入するオイルは、粘度指数数しか気にしなかった。どのメーカーの品でもよかった。

「オイルはみな同じだろう」  
18歳から31歳までの13年間、わたしは冷めた目でオイルを見ていた。社会人になり雑誌社に勤め、あるオイルメーカーで取材をしても、担当者が話す言葉がすべて嘘に聞こえたいや、聞く耳をもたなかった。編集者としてあるまじき態度だと自覚していた。決して改められなかった。

そんなある日、GT-Rマガジンへの異動が決まった。BNR34の誕生と同時に。各パーツメーカーやチューニングショップから矢継ぎ早に改造用品が登場した。そんな中でチューニングショップ独自のオイルまでも登場した。

「RB26DETにぴったりのオイルが新発売です」

「過激なサーキット走行にも耐えられる高性能オイルが誕生しました」  
「当社のオイルはエンジン始動時にシリンドラー内部を傷めません」

そんな文言を聞いて、わたしは驚いた。GT-Rユーザーからの圧倒的支持を得るために、各オイルメー

カーやチューニングショップまでもがしのぎを削っている。この現実が信じられなかったのだ。

「そんなに言うのなら、一つ一つ確かめていこうかな」とわたしは、取材に出掛けた。これまでの冷めた目を変えなければならぬ、という意識もあつたからだ。

各メーカーの広報担当者の熱い語りは納得できた。

「きっと素晴らしいんだな」と素直に期待が持てた。だが、最後の決め手に欠ける。「オイルのすべて」を語る人がいなかったからだ。

そんな矢先、約10年前のことになるが、ニューテックの鳩谷和春代表と出会った。同社の名はバイクレース観戦を通じて知っていた。だが、GT-Rの世界では最後発のメーカーだ。それゆえに、GT-Rの世界に足を踏み入れたばかりのわたしは、ニューテックに親近感を持った。

そして、わたしは鳩谷代表に本音で体当たりをかました。

「ほかのオイルとどう違うのか? 高性能を謳うけれど、何を指して高性能というのか? 化学合成オイルの有利性は? 精製方法は? そしてオイルというものを、一から教えていただきたい」とお願いした。

すでにわたしは6年も自動車雑誌を作っている。オイルそのものを一から教えてほしいなど、ある程度の経験を持つ編集者なら恥ずかしくて言えないだろう。だが、わたしは他誌のオイル関係の記事を読みながら確信した。

「誰もオイルの真実を知らない」と。このとき、鳩谷代表の驚いた顔を見ても鮮明に覚えている。

「何だ、こいつは?」と、おそらく困惑していたと思う。だが、次の瞬間、鳩谷代表は満面の笑みで、

# RB26DET専用オイル

## 誕生前夜



「アルティメイトウエポン」はあらゆる車両特性に加え、どんな使用環境にも対応。RB26DET専用オイルには、最高級品と同等かそれ以上の性能を与えたいと考えている！



ニューテックはオイルメーカーとしては最後発である。鳩谷代表が同社を立ち上げるとき、心に誓ったのはGT-Rユーザーからの製品に対する揺るがない信頼を獲得することだった



オイルのほかに添加剤やブレーキフルード、不当冷却液など、商品ラインアップは33をそろえる。そして、約10年の間にニューテックはGT-Rの世界で確固たる地位を築いた

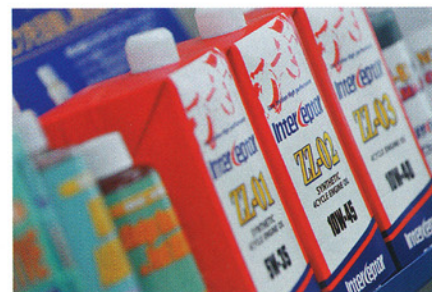


鳩谷和春代表。学生時代からモータースポーツに興味を持ち、国立東京工業高等専門学校卒業後は、トヨタ自販トヨベツトサービスセンター・特殊開発部に籍を置く。レース現場でエンジンの開発に明け暮れ、1982年からはトヨタのレース部門であるTRDに移籍。WRCマシンやGTカーのエンジニアとして素晴らしい手腕を発揮した。'97年、30年間のレース人生に区切りをつけニューテックを設立。以後、真の高性能オイルを追求し続けている

RB26DET専用オイルをつくることは、ニューテック・鳩谷和春代表とわたしの悲願だった。開発方法はユーザーの代表としてわたしが、あらゆるリクエストを出し鳩谷代表が応える。そして、出来上がった試作品で実走行を繰り返す。気に入らなければ一からやり直す。徹底的に超高性能を追求するために妥協はしない



ニューテックの魅力は、コストにとらわれない素材の選定と複雑な製造工程を実施していることだ。だから、同社の製品は価格以上の価値を、ユーザーに提供し続けているのだ



「インターセプター」の「ZZシリーズ」には環境に配慮して早くエコパックを採用した。軽量で変形せず、錆も発生しない。RB26DET専用オイルのエコ仕様も検討中だ！

「いいでしょう。すべてお答えしますよ」と説明し始めた。わたしは疑問点があればその都度質問するものだから、なかなか話が先に進まない。そんなわたしに鳩谷代表は笑顔を絶やさず、根気よく付き合ってくれた。結局、取材は4時間にも及んだ。

このとき、鳩谷代表とわたしは初対面だった。しかし、出会いとは思えない。思慮なものだ。わたしは、「この人とは固い絆で結ばれる」と確信した。

以来、わたしはニューテックから新製品が発売され、また、新ブランドが誕生するたびに、鳩谷代表のもとへ行き「オイルのすべて」を学び、対話を重ね続けた。

その甲斐あってオイルの全貌を理解することができ、わたしは絶対的な自信でオイルの記事を書き続けられた。正々堂々とオイルの真実だけを綴れた。

そんなある日、わたしは思い切つて鳩谷代表に打診した。

「GT-RオーナーのためにRB26DET専用用品を作ってもらえないでしょうか？」と。

鳩谷代表はしばらく考えた後、「面白いですね。ただし、GT-Rのオーナーさんは、厳しい目をお持ちだから、半端なものを出せません」と、やや躊躇していた。

「これまでニューテックは既存のオイルにおいてもユーザーやレース関係者、そしてユーザーからの意見を反映して、人知れず改良を重ねてきたではないですか。価格とパッケージはそのままで、ユーザーは改良版であることがわからない。おまけに、押し付けがましくもない。そんなユーザーのことだけを考えるニューテックだからこそ、GT-R専用用品」という夢をかき立てられる

と信じ、お願いしているんです」わたしは一歩も引かない。「わかりました。そこまでおっしゃるのなら、検討しましょう」

鳩谷代表はほほ笑んだ。

そして10年をへて、ついにニューテックとGT-Rマガジンが、共同計画を発表する時がやって来た。では、鳩谷代表とわたしが立てた計画の一部を明らかにする。

- ・限定受注生産。
- ・業界初6ℓ仕様。
- ・超高性能。
- ・超ロングライフ。
- ・エンジン保護性。
- ・性能と価格の反比例。
- ・専用木箱にて梱包。

この7項目のほかに、あらゆる可能性を探っている。なぜなら、ユーザーの皆さんにかつてない大きな感動と喜びを味わってほしい、と願つてやまないからだ。

今後、GT-Rマガジンでは、開発、テスト、そして発売に至る過程をお伝えしていく。

その中で、わたしがユーザーを代表して、すでに鳩谷代表に提出している計画案に加え、考えつくすべてのリクエストを出す。

ただし、あらかじめ断っておきたいことがある。今回、作り上げるオイルは愛車の現状維持と保存を重視するオーナー向けだ。

かさ上げしたパワーの最大値を500PS程度に設定している。従って、600PSを超えるような改造車には不向きであることを、述べておきたいと思う。

さあ、いよいよ夢に見たRB26DET専用オイル「NC-RB26」(仮称)が誕生する。

上質を手に入れたいと渴望する読者の心を、必ずや潤してみせる！

と信じ、お願いしているんです」わたしは一歩も引かない。「わかりました。そこまでおっしゃるのなら、検討しましょう」

鳩谷代表はほほ笑んだ。

そして10年をへて、ついにニューテックとGT-Rマガジンが、共同計画を発表する時がやって来た。では、鳩谷代表とわたしが立てた計画の一部を明らかにする。

- ・限定受注生産。
- ・業界初6ℓ仕様。
- ・超高性能。
- ・超ロングライフ。
- ・エンジン保護性。
- ・性能と価格の反比例。
- ・専用木箱にて梱包。